

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	国民健康保険事業特別会計繰出金										事業コード	030101450274				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり							
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521					
事業担当	所属	080200 総務部財政課						所属長	伊達 大史							
会計情報	款	03 民生費		項	01 社会福祉費		目	01 社会福祉総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	107		頁
計画期間	開始年度	昭和36年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	一				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	国民健康保険法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (国府負担事業、特別会計への繰出金)															
関連事業	国民健康保険事業特別会計各事業															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 国民健康保険とは、都道府県及び市町村が保険者となって運営する公的な医療保険制度である。 国民健康保険事業特別会計は国民健康保険事業の円滑な運営とその経理の適正を図るために設置するものであり、保険料等の特定の収入を基に事業運営を行う。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 国民健康保険事業において、保険料等の収入のみでは安定した運営ができないのが実情である。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 国民健康保険事業の健全な運営を図るための国民健康保険事業特別会計に対する繰出金。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 人件費、その他国民健康保険事業特別会計運営に必要な経費等に対して一般会計から繰出金として支出する。 産前産後保険料負担金：民生費府負担金：152千円：21									
対象者	－				対象者数	－		単位あたりコスト	#VALUE!	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	641,180		601,693		588,171		0						
	② 補正予算	△ 1,642		12,811		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		639,538		614,504		588,171		0						
予算財源内訳	① 一般財源	365,474		361,487		332,410		0						
	② 国支出金	66,026		59,986		56,185		0						
	③ 府支出金	208,038		193,031		199,576		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 30,000		△ 528										
	② 配当予算	609,538		613,976										
	③ 執行額	601,794		589,619										
	④ 執行率	98.7%		96.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.02	/	0.00	0.03	/	0.00	/						
	② 概算人件費	168		240										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		601,962		589,859										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	国保基盤安定負担金(保険者支援分)		種類	民生費国庫負担金		実績金額	58,209		決算附属資料	13		頁
			国保基盤安定負担金(保険料軽減分)			民生費府負担金			156,439			20		
			国保基盤安定負担金(保険者支援分)			民生費府負担金			29,104			21		
			未就学児均等割保険料負担金			民生費国庫負担金			1,080			14		
			未就学児均等割保険料負担金			民生費府負担金			540			21		
			産前産後保険料負担金			民生費国庫負担金			304			14		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—		
	【定性的評価のため入力なし】	目標値	—	—	—	—	—		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	百万円	612.2	601.8	589.6			
	繰出金決算額	当初見込		632.2	641.2	601.7	588.1	—	
	活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
繰出基準等に基づき国民健康保険事業特別会計に一般会計から繰出を行う。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 繰出を行うことにより、国民健康保険事業の円滑な運営を図ることができた。今後も適正に繰出を実施する必要がある。【定性的評価】								
現状の課題 に対する 改善策	担当課との十分な調整を行い、適正な繰出金額の精査に努める。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	北部保健福祉センター改修事業										事業コード	040101202402				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり							
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521					
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課						所属長	岸見 貴志							
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	01 保健衛生総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	138		頁
計画期間	開始年度	令和6年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	-				R7現在の状況		廃止/休止		
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (過疎対策事業債)															
関連事業	-															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 北部保健福祉センターは、平成8年に建築され、高齢者等の保健や福祉の向上に資する施設として現在まで運用を行っている。 当該施設の空調施設等は、建築当時の旧式の施設で老朽化が激しくなっており、令和5年度から運用を停止せざるを得ない状況である。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 施設の適正運用のために、空調をはじめとした各種施設を改修する必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 誰もが幸せを生きるまちづくりのために、円滑な健康推進事業の推進に向けて、北部保健福祉センターの空調施設等の改修を行い、施設の適正運用を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること (1)北部保健福祉センター事務室及び附属諸室の空調及び照明設備改修 ・既存冷温水式空調を電気式ヒートポンプエアコンに改修 ・既存蛍光灯照明をLED化 (2)既設灯油焚冷温水発生器及び地下オイルタンク撤去									
対象者	全市民				対象者数	74,000		単位あたりコスト	0.5	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		30,330		0		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		0		30,330		0		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		30		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		30,300		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		652										
	② 配当予算	0		30,982										
	③ 執行額	0		30,982										
	④ 執行率			100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.00	/	0.00	0.33	/	0.00	/						
	② 概算人件費	0		2,640										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		33,622										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	北部保健福祉センター改修事業(過疎対策)		種類	衛生債		実績金額	30,900		決算附属資料	51		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	—	—	100				
	改修等工事進捗(完了を100%とする)	当初見込	—	—	100	—	—		
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)	工事進捗報告								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	・1階等施設改修工事については、途中追加作業もあったものの、R7.1月に全て完了。 ・福知山市社会福祉協議会に行政財産使用許可している事務局運営は、これまで仮部屋での業務だったが、改修を経て正規の事務室運営(面積等拡大)が可能となり、適正な環境整備が図れた。 ・今後、北部保健福祉センターとして、安全で誰もが利用しやすい施設として活用促進していくならば、2階空調設備やトイレ改修(1回和式トイレの様式化、2階共同トイレを分化等)、老朽化による外壁改修及び施設備品等の見直し等が必要である。ただし、多額の費用が想定される。	
現状の課題 に対する 改善策	・本件に係る改修工事は全て完了。 ・今後、使用用途についての方向性検討、改修等必要な箇所の優先順位を検討し、予算要望していく。(R7大江支所、大江総合会館と一体的な外壁改修工事の予算要望したが、ゼロ査定)	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	献血・骨髄バンク推進事業										事業コード	040101410207				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち						政策目標	2 生涯を通じた身体 の健康づくり							
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521					
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課						所属長	岸見 貴志							
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	01 保健衛生総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	138		頁
計画期間	開始年度	昭和42年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	京都府献血推進計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律・福知山市骨髄ドナー助成事業実施要綱															
事業区分	☑ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 □ 市単独事業 □ 内部庶務的事業 □ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 近年、新型コロナウイルス感染症の影響により献血機会が減少した中にも関わらず、本市の献血人数等は増えており、目標人数4,000人を超える献血者を確保できている。 令和2年に献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言を行ったが、当時はコロナ禍であり、主だった啓発活動が行えなかった。令和6年度は教育機関への出前講座や講演会、市内初のナイト献血、福知山マラソンでの啓発活動などの外部に向けた啓発活動に力を入れている。									
	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 少子高齢化の影響により、若年層の献血者数の減少が顕著となっている。また献血・骨髄ドナー登録ともに年齢制限があり、今後献血者・ドナー登録割合が多い40歳代以上の世代が上限年齢を迎えていく事で、ますます献血者やドナー登録者数の減少が予想される。その為、若年層への普及啓発や複数回献血を推進する活動を行う。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 輸血用血液製剤をはじめとする血液需要に見合う安全な血液を、安定的に確保する。また、骨髄バンクの登録者を確保することにより、市民が安心・安全に生活できるまちづくりを目指す。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・学校や企業に向けて献血と骨髄バンクに関する啓発の実施 ・福知山市献血推進協議会の活動に対し負担金を交付 ・NPO法人献血と骨髄バンクの和を広げる会に補助金を交付 ・骨髄ドナー提供者への助成 ・継続して献血を行ったものに対し、啓発物品の配布・表彰を行う									
対象者	全市民				対象者数	74,000		単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,165		1,071		636		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		1,165		1,071		636		0			
予算財源内訳	① 一般財源	885		791		496		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	280		280		140		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	△ 540		50							
	② 配当予算	625		1,121							
	③ 執行額	625		1,092							
	④ 執行率	100.0%		97.4%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.32	/	0.55	0.85	/	0.45	/			
	② 概算人件費	4,100		8,060							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,725		9,152							
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	骨髄ドナー助成事業補助金			種類	衛生費府補助金		210	決算附属資料	24	頁
		献血・骨髄バンク推進事業(きょうと地域連携交付金)				衛生費府補助金		124		24	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人		4415	4369	4392			
	年間採血者数	目標値			4000	4000	4300	4300	4300	
			達成度	%	110%	109%	102%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	日		86	81	91			
	献血・バンク登録会の実施	当初見込			60	60	60	90	90	
	活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
日中の献血時間では、都合がつかず献血がしたくてもできなかった方々に対し、ナイト献血(16:30～19:00)を実施 新規献血者を開拓するために、魅力的な啓発資材提供やマスコットキャラクターなどの利用を行う 献血を継続する意思がある方に対し、複数回献血を実施していただいた場合、献血記念品や感謝状などの贈呈を行う										

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人		132	121	124			
	骨髄バンク新規登録者数	目標値			120	120	120	120	120	
			達成度	%	110%	101%	103%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	日		86	81	91			
	献血・バンク登録会の実施	当初見込			60	60	60	90	90	
	活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
骨髄ドナー登録説明員を担うNPO法人に対し、補助金の交付 福知山マラソンにてランナーに啓発タスキを着用し走っていただく 福知山マラソンにて、チャリティに関心をもたれる層に向けて、日本代表として参加された著名なランナーを誘致し、啓発活動を実施しつつマラソンを走っていただく										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	血液センター・NPO法人と連携し、献血・バンク登録会場を確保する事で、献血者数は目標を達成できている。 人工的に生成できない血液・骨髄の安定供給には、継続的な献血と新規骨髄ドナー登録が必要であり、新規層・若年層への啓発活動は必須である。 また、骨髄バンクについては、骨髄移植コーディネートが仕事等のドナー都合で終了する事が課題となっている。しかし国内企業でのドナー休暇普及率は5%にとどまっている。企業に向けてドナー休暇の周知・普及活動を実施していく必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	血液需要に見合う血液を安定的に確保するため、集団献血の機会を確保する。 課題である若年層への普及啓発については、血液センター等関連機関との連携を強化し、献血セミナーの回数や企画内容の充実を図っていく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	保健衛生一般経費事業										事業コード	040101410301			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	2 生涯を通じた身体 の健康づくり						
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521				
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課						所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	01 保健衛生総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	138・139	頁
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市健康増進計画					R7現在の状況	他事業を統合	
根拠法令等	保健師看護師助産師法第28条の2及び福知山市予防接種事業災害補償規則、健康増進法														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 健康増進法等に基づく健康推進事業を行うための管理的経費										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・健康推進事業における備品等の購入及び選定 ・研修会参加の増加 ・人事異動を伴う体制での健康管理システムの維持・更新										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) だれもが幸せを生きるまちづくりのため、健康推進事業を円滑に運営する。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・健康推進事業を円滑に行うための管理的経費 ・消耗品に係る経費 ・健康づくり推進協議会運営の経費 ・保健師における研修に係る経費 ・備品購入に係る経費 ・健康管理システムの改修・保守、システム標準化に係る経費										
対象者	全市民					対象者数	74,000		単位あたりコスト	0.4	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	4,658		18,162		20,337		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		4,658		18,162		20,337		0						
予算財源内訳	① 一般財源	4,658		5,214		9,834		0						
	② 国支出金	0		12,948		10,503		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 1,023		△ 499										
	② 配当予算	3,635		17,663										
	③ 執行額	3,583		11,906										
	④ 執行率	98.6%		67.4%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 金計年度任用職員)	0.23	/	0.45	1.60	/	1.04			/				
	② 概算人件費	3,100		15,712										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,683		27,618										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	保健衛生一般経費事業(デジタル基盤改革支援補助金)			種類	衛生費国庫補助金		実績金額	5,956		決算附属資料	16		頁
		業務用冷凍庫売却				物品売払収入			5			33		
			7											

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	4	10	5			
	保健師研修参加回数	当初見込	13	10	9	5	—		
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)	健康推進事業推進のための専門職である保健師の育成のため、研修へ参加する。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・健康管理システムの改修及び保守を行い、安定した健康推進事業体制の構築が図れた。システム管理には経験と知識が必要であるが、人事異動を伴う体制の中で、運用するには、ベンダーやデジタル政策推進課等と密に連携する必要がある、 ・必要と判断する備品・物品の購入を安定的に購入し、緊急的に必要な物品等にも対応をした。 ・保健師等に関わる研修会への積極的参加を図る必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	・保健師、栄養士における研修参加への時間確保等を行う。 ・令和7年度予定のシステム標準化にあたっては、委託業者と密に連携を図りながら、円滑に更新できるよう努める。 ・令和7年度より、『危機管理対策事業』『地域医療・医療従事者養成確保事業』と統合。	

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績	箇所	－	－	4			
	適切に運営・管理されている施設数		目標値		－	－	4	4	4	
			達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	100%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	2	3	4			
	修繕回数		当初見込		2	3	4	3	3	
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・修繕が必要となった際の円滑な業者対応等を実施 ・各保健福祉センター職員との連携強化								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。		成果実績							
			目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績							
			当初見込							
			※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
活動内容② (アクティビティ)										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・保守点検業者及び各保健福祉センター職員との連携により、早急に対応すべき箇所の把握及び修繕を円滑に実施できている。 ・北部保健福祉センターにおいて建設当初から28年の年数が経過しているため、老朽化により修繕必要箇所が増えている。	
現状の課題 に対する 改善策	・今後も保守点検業者及び各保健福祉センター職員との連携を維持していく。 ・令和7年度より施設管理について一部は資産活用課による包括管理業務となるため、より円滑な連携及び修繕対応に努める。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	帯状疱疹ワクチン接種事業										事業コード	040102202401				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち							政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521					
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課							所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	02 予防費		会計	01 一般会計		決算附属資料	140		頁
計画期間	開始年度	令和6年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市帯状疱疹ワクチン接種費用助成金交付要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 帯状疱疹は80歳までに3人に1人が罹患すると推定され、合併症の一つである帯状疱疹後神経痛はワクチンを接種することで発症の予防や合併症を抑えられる。50歳以降で罹患率が高くなり、ピークは70歳代。帯状疱疹後神経痛は睡眠や日常生活を障害するほど重篤な場合があり、帯状疱疹症例の10～50%で生じ、加齢が重要なリスク因子となる。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 帯状疱疹ワクチンの接種費用は、生ワクチンは8,000～10,000円、組換えワクチン20,000～25,000円と高額であり、組換えワクチンについては2回接種が必要である。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 帯状疱疹ワクチンを接種し、帯状疱疹の発症予防や重症合併症の発症を抑えることで健康寿命の延伸を図ることを目的とする。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ＜実施方法＞帯状疱疹ワクチン接種にかかる費用のうち、ワクチン代相当の半額を助成する。助成委任受託医療機関で接種する場合は、助成額を差し引いた費用を医療機関へ支払うが、助成委任受託医療機関以外で接種した場合は本人申請により助成する。 ＜対象者＞①接種日時点で50歳以上の市民で過去に市の助成を受けていない人 ②18歳以上50歳未満で免疫不全の者、免疫機能が低下した者、低下する可能性がある者、その他医師が必要と認めた者 ＜助成額＞乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」 4,000円、乾燥組換え帯状疱疹ワクチン「シングリックス」 10,000円×2回 ※令和7年度より定期接種化。									
対象者	接種日において①50歳以上の市民②18歳以上50歳未満のハイリスク者				対象者数	38,761		単位あたりコスト	0.7	
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		10,762		25,374		0						
	② 補正予算	0		10,427		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		0		21,189		25,374		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		21,189		25,374		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	0		21,189										
	③ 執行額	0		20,406										
	④ 執行率			96.3%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.00	/	0.00	0.45	/	0.53	/						
	② 概算人件費	0		5,084										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		25,490										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称				種類			実績金額			決算附属資料			頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	—	—	—			
		目標値		—	—	—	12	12	
	【定期】接種率		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	医療機 関	—	—	—			
	【定期】協力医療機関数	当初見込		—	—	—	35	38	
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・医療機関への丁寧な説明 ・対象者への個別通知、带状疱疹ワクチンが定期接種化となったことの周知(広報カード、広報ふくちやま、ホームページ、LINE等) ・無料制度の設定、他市接種依頼等での福知山市以外での接種の体制確保、償還払い対応など、接種希望者が利用しやすい体制づくり。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	—	—	2069			
		目標値		—	—	770	850	850	
	【任意】助成金交付者数(延)		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	269%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	医療機 関	—	—	31			
	【任意】助成委任受託医療機関数	当初見込		—	—	31	32	33	
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・医療機関への丁寧な説明 ・市民への助成制度の周知(広報カード、広報ふくちやま、ホームページ等)								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	【定期】定期接種が令和7年度より開始することに伴い、助成金交付事業との違いについて市民・医療機関の混乱が見込まれる。また定期接種について市民への十分な周知がされていない。 【任意】令和6年度より開始した事業で、市民や医療機関から多数の問合せがあったが、丁寧に説明を行い、順調に接種から費用助成まで実施できている。また、市内医療機関については、接種者が医療機関代理受領を委任する形をとり、助成額を差引いた金額を支払い、手続き等の負担軽減に繋がっている。								
現状の課題 に対する 改善策	・医療機関や市民に丁寧な説明や周知が必要。(医療機関への事前説明、ホームページや広報ふくちやま等を用いた市民への周知) ・他市接種においては、問い合わせに対しては引き続き丁寧に説明し、スムーズな接種や事後処理ができるようにしていく。接種者数が多い医療機関については個別契約も提案し、接種者にかかる負担を軽減できるようにする。また、定期接種において実績のある医療機関には、事前に対象者の有無の確認や無料制度について説明し、該当の場合は、事前に申請をしてもらえよう対応する。								

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	インフルエンザ予防接種事業										事業コード	040102410319				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち							政策目標	2 生涯を通じた身体 の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ							施策コード	521						
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課							所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	02 予防費		会計	01 一般会計		決算附属資料	141		頁
計画期間	開始年度	平成13年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	予防接種法、福知山高齢者インフルエンザ予防接種実施要綱、福知山市障害のある人のためのインフルエンザ予防接種実施要綱															
事業区分	☒ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()															
関連事業	新型コロナウイルスワクチン接種事業															

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・インフルエンザは高齢者で特に重症化しやすい、肺炎や死亡のリスクが高い。 ・予防接種法に基づき、高齢者インフルエンザ予防接種は「B類疾病」に分類されており、接種を希望する人には市町村が予防接種を実施する義務がある。 ・障害のある人は、免疫の低下や体調不良を自ら訴えづらいことから感染リスクが高く重症化しやすい、					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・インフルエンザ予防接種を希望する人に、適切に予防接種が実施される体制の確保。 ・高齢者は約6割、障害のある人は約7割の接種率で推移している。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 予防接種法に基づき高齢者及び障害のある人がインフルエンザワクチンを接種することにより、インフルエンザを発症又は重症化することを防止することで健康寿命の延伸を図ることを目的とする。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【実施方法】委託医療機関でインフルエンザワクチンの接種を受ける。 【対象者】①満65歳以上の高齢者と、60～64歳で心臓、腎臓、呼吸器、HIV感染による免疫機能障害の身体障害者手帳1級保持者(22,802人) ②満64歳以下で身体障害者手帳1級・2級及び療育手帳A保持者(740人) 【自己負担金】1,500円 ※無料制度あり 【実施期間】令和6年10月1日～令和7年2月28日					
対象者	接種日において①65歳以上の高齢者②64歳以下で障害のある人		対象者数	23,542	単位あたりコスト	2.7
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	京都府医師会、福知山医師会、市外の協力医療機関、京都府国民健康保険団体連合会					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	需用費	460	消耗品費、印刷製本費			
	役務費	246	郵送料、国保連合会事務手数料			
	委託料	54,134	個別接種に係る委託料			
	扶助費	123	市外等接種に係る償還払い			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	58,537		58,595		58,003		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		58,537		58,595		58,003		0		
予算財源内訳	① 一般財源	58,537		58,595		58,003		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		△ 2,851						
	② 配当予算	58,537		55,744						
	③ 執行額	54,869		54,963						
	④ 執行率	93.7%		98.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.97	/	1.03	0.76	/	1.12	/		
	② 概算人件費	10,644		9,216						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		65,513		64,179						
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人	0	0	未確定			
	インフルエンザ死亡者数		目標値		0	0	0	0	0	
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#VALUE!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	%	59	57.2	54.2			
	接種率(高齢者)		当初見込		62.4	61.3	61.4	57.5	57.5	
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	・広報ふくちやま、市SNSを活用した情報発信、 ・各戸配布による市民への周知 ・無料制度の設定、他市接種依頼等での福知山市以外での接種の体制確保、償還払い対応など、接種希望者が利用しやすい体制づくり。									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人		0	0	未確定			
	インフルエンザ死亡者数	目標値			0	0	0	0	0	
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#VALUE!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%		73.7	73.4	69.8			
	接種率(障害のある人)									
		当初見込			74.4	74	74	73.6	75	
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	・対象者について障害者福祉課と共有し、対象者には個別通知を行う。 ・市民税非課税世帯・生活保護世帯への接種費用助成									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	・高齢者のインフルエンザ予防接種事業は法令上の業務であり、継続していく。 ・高齢者だけでなく障害のある人についても重症化のリスクが高いため、ワクチンの接種によりインフルエンザの発症・重症化を防止し、社会的な流行を防ぐことが重要である。 ・他市接種における償還払いや無料制度について、問い合わせがあった時は丁寧に説明を行っており、引き続き周知に努める。他市接種は申請、依頼先との調整等で申請から接種までに時間を要する。 ・障害のある人については、本市で手帳を発行している対象者は障害者福祉課と共有し、個別通知を送付しているが、他市で発行された手帳保持者は把握できないため、施設・本人からの申請により対応している。	
現状の課題 に対する 改善策	・法令上の業務である為、継続して周知を図っていく。 ・他市接種においては、問い合わせに対しては引き続き丁寧に説明し、スムーズな接種や事後処理ができるようにしていく。また実績のある医療機関には、事前に対象者の有無の確認や無料制度について説明し、該当の場合は、事前に申請をしてもらえるよう対応していく。また、接種者数が多い医療機関については個別契約も提案し、接種者にかかる負担を軽減できるようにする。 ・障害のある人は、今後も継続して障害者福祉課と情報共有し、個別通知を実施。本市に住民票はあるが他市での手帳発行者は本人からの申請が必要である。そういった人は施設入所者の場合が多い為、実績のある施設については事前に電話でインフルエンザ予防接種の希望の有無を確認し、必要に応じて申請の説明を行っていく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	健康危機管理対策事業										事業コード	040102410323			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521				
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課						所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	02 予防費		会計	01 一般会計		決算附属資料	141	頁
計画期間	開始年度	平成15年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	感染症法、新型インフルエンザ等対策特別措置法等、気候変動適応法														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・食中毒の発生しやすい期間(夏・冬)に、京都府より発令される「食中毒注意報」を受け、本市では市民周知及び啓発を実施している。 ・令和6年4月より改正気候変動適応法が施行され、特別警戒情報の創設など、熱中症予防を強化するための措置が講じられた。 ・新型コロナ発生以降、新興再興感染症への平時からの対応が求められている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・食中毒は、飲食事業者のみならず、家庭でも発生する身近な健康被害であることから、度重なる啓発が必要になる。 ・地球温暖化の進行に伴い、極端な高温等が起こる頻度と強度は、増加すると予測されており、熱中症で搬送される患者数も年々増加傾向にある。 ・新型インフルエンザ等に係る市の方針を示した「新型インフルエンザ等対策行動計画」において、新型コロナの経験を踏まえた改正が求められている。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 食中毒や感染症、その他の原因による健康被害の発生予防・拡大防止を図り、健康危機から市民の生命・健康の安心・安全を確保する。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・食中毒予防・熱中症予防・その他感染症の啓発 関係機関との連絡調整 ・市民・関係事業者等に対する広報・啓発 ・福知山市衛生協会への補助金交付									
対象者	全市民				対象者数	74,000		単位あたりコスト	0.0	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	537		618		0		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①～③)		537		618		0		0	
予算財源内訳	① 一般財源	537		618		0		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	0		38					
	② 配当予算	537		656					
	③ 執行額	387		603					
	④ 執行率	72.1%		91.9%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全時年度任用職員)	0.17	/	0.30	0.20	/	0.20	/	
	② 概算人件費	2,200		2,160					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,587		2,763					
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	件		0	1	1			
			目標値			0	0	0	0	0	
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	件	10	11	9				
	食中毒注意報発令件数		当初見込		-	-	-	-	-		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・食中毒が発生しやすい季節には、広報誌、HP、懸垂幕などによる啓発 ・「食中毒注意報」が発令された際には、看板掲示や町内放送等による周知を実施。 ・福知山市衛生協会への補助金交付									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人	68	92	131				
			目標値		-	-	-	-	-		
			達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	-	5	10				
	熱中症アラート発令時におけるSNS発信回数		当初見込		-	5	10	10	10		
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・熱中症発生シーズンにおけるHP、広報誌における啓発 ・熱中症アラート等発令時における市公式SNS発信									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	・食中毒をはじめとした健康被害に対し適時適切に広報、啓発を行い、健康被害の発生予防・拡大防止を図ることができた。 ・食中毒・熱中症・感染症などの発生シーズンは、注意報発令の頻度が増えることから、市民周知もマンネリ化しないための工夫が必要である。								
現状の課題 に対する 改善策									
	・安心・安全なまちづくりを進めていくため、身近な健康危機である食中毒注意報発令時等に適切に周知活動を実施していく。 ・熱中症特別警戒アラートが新設されて以降、発令されたことはないが、発令された際には、関係課と連携し市民周知や予防対策・啓発に取り組んでいく。 ・国や京都府による新型インフルエンザ等対策行動計画の改定を踏まえ、本市計画も改定し、新興再興感染症への対応力向上を図る。 ・令和7年度より、『保健衛生一般経費事業』に統合。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	高齢者の肺炎球菌ワクチン接種事業										事業コード	040102410378				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち							政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521					
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課							所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	02 予防費		会計	01 一般会計		決算附属資料	143		頁
計画期間	開始年度	平成26年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	予防接種法、福知山市高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業実施要綱															
事業区分	☑ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・高齢者で特に基礎疾患がある人は肺炎の重症化リスクが高いため、肺炎予防のひとつの方法としてワクチン接種が有効。 ・肺炎による死亡者の97.9%が65歳以上(人口動態統計2021年より) ・令和6年度から接種対象者の経過措置が終了し、65歳からの5歳刻みの対象年齢から、65歳前日～66歳前日のみに変更となった。						
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・肺炎球菌ワクチン予防接種の接種率が低い。 ・対象者によって誕生日が異なるため、有効期限が対象者によって異なり、接種率の算出が難しい。						
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 予防接種法に基づきワクチン接種を行い肺炎の予防と重症化を防ぐことで、健康寿命の延伸を図ることを目的とする。						
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【実施方法】委託医療機関で肺炎球菌ワクチンを接種する。65歳誕生日の前月または当月に有効期限記載された予防票を発送する。 【対象者】①65歳前日～66歳前日 ②60歳以上65歳未満の心臓、腎臓、もしくは呼吸器の機能又は人免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する者として厚生労働省に定める人(身体障害1級の手帳保持者、又は同程度の者と医師の診断書で確認できる人)ただし、これまで23価肺炎球菌ワクチンを接種したことがない人。【自己負担金】4,000円(生活保護世帯・市民税非課税世帯は無料)【実施期間】令和6年4月1日～令和7年3月31日(予防票有効期間とは異なる)						
対象者	65歳の市民で予防接種未接種かつ接種を希望している者			対象者数	724	単位あたりコスト	6.4
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	4,797		3,985		2,119		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		4,797		3,985		2,119		0			
予算財源内訳	① 一般財源	4,797		3,985		2,119		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		△ 11							
	② 配当予算	4,797		3,974							
	③ 執行額	4,034		1,161							
	④ 執行率	84.1%		29.2%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.39	/	0.63	0.27	/	0.46	/			
	② 概算人件費	4,884		3,448							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,918		4,609							
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称			種類	実績金額		決算附属資料		頁	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人		43	34	未確定				
		目標値			0	0	0	0	0		
	肺炎での死亡者数(市)	達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#VALUE!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	44.2	32.7	22.2					
	65歳の接種率	当初見込		60	60	50	44	44			
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 予診票を発送して3か月以上経過している人のうち、未接種者に接種勧奨を2回に分けて実施。(4～9月誕生日:12月～翌年1月に接種勧奨予定、10～3月誕生日:6～7月に接種勧奨予定)予診票送付時の封筒に、「接種できるのは65歳のみ」であることを黄色シールを貼って協調。(令和6年度から)予診票送付時に肺炎のリスクについてのリーフレット、無料申請の説明、実施医療機関を同封。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・福知山市における肺炎の死亡者が大きく上昇していないことから、ハイリスク者である高齢者の接種は有効であると評価している。 ・予算編成時は厚生労働省のワクチン分科会での決定事項がなく、令和5年度同様の対象者で予算計上していたが、令和6年度以降は経過措置がなくなり、対象者が満65歳のみに変更(70・75・80・85・90・95・100歳は対象外)となったことにより、決算額は予算額を大幅に下回った。 ・肺炎の予防、重症化予防のために接種率を増やしていく必要があるが、高齢者の肺炎球菌感染症はB類疾病で個人の判断による予防接種であるため、例年接種目標値を下回っている。
現状の課題に対する改善策	・予診票発送後の未接種者への接種勧奨を実施し、接種希望者が期間内に接種できるようにする。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業										事業コード	040102410397				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち							政策目標	2 生涯を通じた身体 の健康づくり						
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521					
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課							所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	02 予防費		会計	01 一般会計		決算附属資料	144		頁
計画期間	開始年度	令和6年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	予防接種法、福知山市定期B類予防接種実施要綱、福知山市障害のある人のための予防接種実施要綱															
事業区分	☑ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・令和6年度より特例臨時接種からB類疾病の定期接種として、市町村に実施義務がある。(予防接種法第5条1項) ・障害のある人は免疫が低下したり、体調不良を自ら訴えづらいため、感染リスクが高く重症化しやすい。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・定期接種としては今年度からの開始のため、接種率の見込みが難しい。 ・特例臨時接種から定期接種に変更となったことについて、市民への周知が必要。 ・新型コロナワクチン接種を希望する人に、適切に予防接種が実施される体制の確保。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 予防接種法に基づき、高齢者や障害のある人が新型コロナウイルスワクチンの予防接種を実施することにより、新型コロナウイルス感染症の感染又は重症化することを防止することで健康寿命の延伸を図ることを目的とする。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【実施方法】委託医療機関で、コロナワクチンを接種する。 【対象者】下記対象者のほか、60歳から65歳未満の人であって、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能、又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する者として厚生労働省に定める人(身体障害者1級の手帳保持者、又は同程度の者と医師の診断書で確認できる人) 【自己負担金】3,000円(市民税非課税世帯・生活保護世帯は無料) 【実施期間】令和6年10月1日～令和7年2月28日(感染状況に応じて期間変更あり)									
対象者	接種日において①65歳以上の高齢者②64歳以下で障害のある人				対象者数	23,542		単位あたりコスト	3.8	
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		0		0		0						
	② 補正予算	0		69,561		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		0		69,561		0		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		31,298		0		0						
	② 国支出金	0		38,263		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		2,823										
	② 配当予算	0		72,384										
	③ 執行額	0		72,246										
	④ 執行率			99.8%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.00	/	0.00	0.70	/	4.03			/				
	② 概算人件費	0		16,884										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		89,130										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	新型コロナ定期接種ワクチン確保事業助成金		種類	衛生費国庫補助金		実績金額	40,097		決算附属資料	16		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人		43	34	未確定			
			目標値			40	40	40	40	40	
	中丹西保健所管内における肺炎による死亡者数		達成度	%		108%	85%	#VALUE!	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	%		—	—	21.2			
	定期コロナワクチン接種率		当初見込			—	—	58	21	21	
活動内容① (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・事業についての、各戸配布での周知 ・無料制度の設定、他市接種依頼等の福知山市以外での接種の体制確保、償還払い対応など、接種希望者が利用しやすい体制づくり。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	人		43	34	未定			
			目標値			40	40	40	40	40	
	中丹西保健所管内における肺炎による死亡者数		達成度	%		108%	85%	#VALUE!	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	%		—	—	43.7			
	障害のある人のための新型コロナワクチン接種率		当初見込			—	—	70.3	43	43	
活動内容② (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・対象者について障害者福祉課と共有し、対象者には個別通知を行う。 ・市民税非課税世帯・生活保護世帯への接種費用助成を行う。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種は法令上の業務であり、継続して実施していく。 ・障害のある人についても、リスクが高く重症化しやすいため、新型コロナウイルス感染症の発症・重症化を防止し、社会的な流行を防ぐことが重要である。 ・国の助成金対象期間を踏まえ、早期の流行期に呼応するため、令和6年度は10月1日から接種を開始した。 ・ワクチンの安全性に関すること、無料制度や他市接種における償還払い等、市民から問合せが多くあり、その都度丁寧に説明している。	
現状の課題 に対する 改善策	・定期接種の実施については、インフルエンザと同時期に接種開始となるため、市民に適切な周知を行う。 ・障害のある人のための新型コロナウイルスワクチン接種では、接種者数が多い市外の医療機関については個別契約を提案し、接種者に係る負担を軽減できるようにする。 ・障害のある人は、今後も継続して障害者福祉課と情報共有し、個別通知を実施する。本市に住民票はあるが、他市での手帳発行者は本人からの申請が必要であり、施設入所者が多いため、施設と事前に接種希望の有無の確認や無料申請等の手続きについて丁寧に説明を行っていく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	成人保健事業										事業コード	040104410326			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち							政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり					
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521				
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課							所属長	岸見 貴志					
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	04 保健指導費		会計	01 一般会計		決算附属資料	145・146	頁
計画期間	開始年度	昭和58年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市健康増進計画					R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	健康増進法・福知山市健康教育実施要領・福知山市健康手帳交付事業実施要綱・機能訓練事業実施要領・国民の健康づくり地方推進事業実施要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 健康増進法(第17条)、健康増進事業実施要領に基づくものであり、福知山市民が健康で長生きできるための施策の一つ。 京都府健診・医療・介護総合データベース(令和4年)では、福知山市は健診有所見率で肥満・血圧・脂質・血糖リスクのある者が男女ともに京都府全体と比較して多い。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 肥満・血圧・脂質・血糖リスクが高い状態は、将来的に市民自身のQOL・健康寿命の低下につながる。これを予防するためには健康に関する必要な知識の効果的な普及・情報提供や行動変容につながる保健指導の実施が必要。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 教室や相談などを通して、生活習慣病予防の知識を普及させ、市民自らが健康づくりに取り組めるよう支援することで、市民のQOLの向上と健康寿命の延伸を図ることを目的とする。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・健康手帳交付:健康の保持増進のために必要な事項を記載し、自らの健康管理に役立てるよう支援。・健康教育:市民及び家族を対象に疾病・生活習慣病予防のための教室を開催する。 ・健康相談:各保健福祉センター及び公民館等で健康に関する相談に応じ、助言を行う。 ・訪問指導:専門職が家庭を訪問し、健康に関する指導及び助言を行う。・機能訓練事業:40～64歳の心身の機能障害や低下が危惧される人に対し、個人の課題に沿った体操や療法士による個別体操の指導・助言、全員でレクリエーション等を行う。										
対象者	概ね40～64歳の市民(但し業務によっては年齢制限あり)					対象者数	40,000		単位あたりコスト	0.4	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,456		2,172		7,444		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		2,456		2,172		7,444		0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,730		1,446		1,918		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	726		726		726		0						
	④ 地方債	0		0		4,800		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		104										
	② 配当予算	2,456		2,276										
	③ 執行額	2,135		2,276										
	④ 執行率	86.9%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	1.34	/	1.07	1.55	/	0.95			/				
	② 概算人件費	13,716		15,060										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		15,851		17,336										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	健康増進事業		種類	衛生費府補助金		708		実績金額	決算附属資料	24		頁
			養成講座教材費自己負担金			雑入		7				47		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	27.4	27.4	26.8					
		目標値		27	26.5	26	25.5	25			
		生活習慣改善の意欲がない者の割合	達成度	%	101%	103%	103%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	1054	1373	1638					
	40-64歳の健康教育参加者数	当初見込		1200	1400	1600	1600	1600			
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	・健康づくりに関する情報の発信(広報ふくちやま、LINE、Instagram、資料の配架、イベントでの啓発など) ・市民への健康教育実施の広報(広報カード、広報ふくちやま、LINE、Instagramちらしの設置など) ・効果的な指導、そのための職員のスキルアップ(研修の受講など)										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績									
		目標値									
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
	活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※ 必要性、効率性、有効性の観点 を基に記述すること ・成人保健事業は市民自らが疾病予防・健康増進に関する知識を身につけ、健康管理ができるよう支援するためのものであることから、当該事業で各取組みの利用総数を増加させる必要がある。また支援した人を他課、他機関等に必要に応じてつなげることが重要である。 ・特に40～64歳の中年期の利用を促し、高齢期になっても継続的に支援することが健康寿命の延伸につながる。健康教育に関しては更に参加者が増えるよう、他課とも連携し、若い世代対象の健康教室を実施することが必要である。
	・健康増進事業としての健康教育は、対象年齢を下げて実施するとともに、LINEやInstagramなどのSNSの活用やWEB申込みなど、対象者に合わせた広報・周知を行う。 ・各センターごとの月1回の定例健康相談とあわせて、電話・訪問・来所・健診結果返しによる相談・指導を継続して実施し、40～64歳の利用者の行動変容に結びつける。また、その年齢の対象者に出会える機会である集団健診結果返しや、イベント等を通し、周知を図る。
現状の課題 に対する 改善策	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	前立腺がん検診事業										事業コード	040104410329				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち							政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521					
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課							所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	04 保健指導費		会計	01 一般会計		決算附属資料	146		頁
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市健康増進計画						R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	がん対策基本法、福知山市がん検診等事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・がんは本市の死亡原因の第1位である。 ・前立腺がんは男性の罹患数第1位である。早期発見・早期治療により、5年生存率が1番高いがんである。 ・地区医師会和協議し、市民にとって必要な検診であると判断している。				
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・例年、一定数のがん確定例が報告されているが、前立腺がん検診の受診率は十分に高いとは言えず、早期発見・早期治療の充実を図るうえでの課題となっている。				
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市民一人ひとりが健康に対する意識を高め、がん検診を受診することで、予防に対する知識の普及を図るとともに早期発見・早期治療を行うことで、QOLの向上と健康寿命の延伸を図ることを目的とする。				
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【実施方法】 問診・血液検査(前立腺特異抗原:PSA値) 集団:保健福祉センターや地域公民館(8月～12月) 個別:市内の委託医療機関(5月～12月) 【自己負担金】200円(無料制度あり)				
対象者	50歳以上の市民(男性)	対象者数	17,371	単位あたりコスト	0.4
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	3,070		2,898		2,898		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		3,070		2,898		2,898		0						
予算財源内訳	① 一般財源	3,062		2,890		2,890		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	8		8		8		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 6										
	② 配当予算	3,070		2,892										
	③ 執行額	2,275		2,892										
	④ 執行率	74.1%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.32	/	0.55	0.38	/	0.46			/				
	② 概算人件費	4,100		4,328										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,375		7,220										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	検診等自己負担金(前立腺がん検診)		種類	雑入		実績金額	8		決算附属資料	44		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	0.55	0.36	0.28			
		目標値		0.61	0.61	0.61	0.61	0.61	
	がん発見率		達成度	%	90%	59%	46%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	8.8	8	8.2			
	検診受診率	当初見込		10.9	8.8	9.8	9.6	9.6	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・50歳以上の男性に向けたがん検診の実施。 ・かわら版を各戸配布。 ・受診率の低い57歳・66歳(R7.3.31時点)を対象に個別勧奨。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	・毎年、前立腺がん検診の受診により、前立腺がんが発見され、早期発見・早期治療につながっているため、一定の評価はできる。 ・受診率向上を目的にSNSや健康教室、イベントなどにおいて検診受診の啓発を行っている。また、受診率の低い年代に向けて個別勧奨も実施した。実施方法としても、様々な検診が一度に受診できる集団検診や休日の検診、かかりつけの医療機関で受診できる個別検診など市民が受診しやすいよう工夫している。 ・課題としては、更に検診受診率や精密検査受診率を向上させていく必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	・前立腺がん検診の検査方法は血液検査であり、がん検診としては受診しやすいため、特定健診の申込者に受診勧奨を行う。また、集団健(検)診の申込時には、前立腺がん検診も受診可能なことを案内し、受診を促す。 ・要精検者については、早期から個別通知や電話での勧奨を行い、精検受診率の向上を図る。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	胃がん検診事業										事業コード	040104410330				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち							政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521					
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課							所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	04 保健指導費		会計	01 一般会計		決算附属資料	146		頁
計画期間	開始年度	昭和37年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市健康増進計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・がん対策基本法に基づいて実施している。 ・胃がんは、日本のがん罹患・がん死亡の上位を占めており、早期発見・早期治療が重要である。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 例年、一定数のがん確定例が報告されているが(令和5、6年度は0人)、胃がん検診の受診率は十分に高いとは言えず、早期発見・治療の充実を図る上での課題となっている。胃内視鏡検診と胃X線検診の受診率は増加傾向にあるものの1～2%台であり、胃ABC検診は2%前後を推移している。 (R5胃内視鏡・胃X線検診受診率:全国6.8%、京都府4.9% * 令和5年度地域保健・健康増進事業報告より)									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 本市の死亡原因の第1位はがんである。啓発を含めたがん検診事業を実施することにより、予防に対する知識の普及を図るとともに自覚症状がなくても早期発見、早期治療につなげることで、死亡比が低い水準を維持する。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・実施方法、内容 ①X線検査(間接撮影法)②内視鏡検査(直接胃がんを発見する方法)③血液検査(胃がんの発生と密接に関係する萎縮性胃炎を判定する方法) ※①・集団検診のみ ②・個別検診のみ ③・集団・個別検診 ・自己負担金 ①500円(70歳以上は無料) ②3,000円(70歳以上は1,500円) ③500円 ※いずれも無料制度あり									
対象者	①X線間接撮影検査②内視鏡検査:50歳以上で偶数年齢の市民 ③胃ABC検査(血液検査):20・25・30・35・40・45～49歳で過去に市のABC				対象者数	27,447		単位あたりコスト	0.5	
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	7,569		7,836		7,638		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		7,569		7,836		7,638		0						
予算財源内訳	① 一般財源	7,490		7,746		7,569		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	24		28		16		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	55		62		53		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 298										
	② 配当予算	7,569		7,538										
	③ 執行額	6,816		7,538										
	④ 執行率	90.1%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.55	/	0.38	0.52	/	0.46			/				
	② 概算人件費	5,464		5,448										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		12,280		12,986										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	疾病予防対策事業費等補助金			種類	衛生費国庫補助金		実績金額	58		決算附属資料	16		頁
		市町村休日総合がん検診支援事業補助金				衛生費府補助金			18			24		
		検診等自己負担金(胃がん検診)				雑入			56			44		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	0.26	0	0				
	がん発見率	目標値		0.5	0.4	0.3	0.3	0.3		
			達成度	%	52%	0%	0%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	1.4	2	2.2				
	検診受診率	当初見込		2.2	2.2	2.5	2.5	3		
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・広報ふくちやま、市SNSを活用した情報発信、かわら版の各戸配布 ・受診可能な若い世代と、胃がんハイリスク者への個別受診勧奨の実施								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・毎年がん検診の受診により胃がんなどの胃部疾患が発見されており、早期発見・早期治療、医療費の削減に繋がっており、一定の評価はできる。 ・胃がん検診の受診率向上のために、健康教室やイベント、SNSを活用した受診啓発を行っている。また、様々な検診が一度に受診できる集団検診や休日健診の実施、胃ABC検診(血液検査)においては医療機関で受診できる個別検診の導入等、市民が受診しやすいよう工夫している。 ・受診勧奨の内容を見直し、胃内視鏡検診・胃ABC検診は年代を絞り受診勧奨を実施したことで、受診者数が増加した。しかし、全国や京都府に比べて受診率は低く、早期発見・治療の充実を図る上での課題となっている。	
現状の課題 に対する 改善策	・集団検診申込み時に対象年齢に応じたがん検診の受診を勧めることや、SNSの活用及び個別の受診勧奨による積極的な受診勧奨を行っていく。また、市民目線で分かりやすい案内文や受診勧奨資材を作成する。 ・胃ABC検診は若年のうちに受診し、異常の早期発見・早期治療につなげる必要があるため、令和6年度から実施医療機関を17か所、令和7年度からは18か所に拡充して受診機会の確保に努める。 ・50歳以上の偶数年齢の人は、X線検診と内視鏡検診どちらか選択して受診できるが、今後はより精度の高い内視鏡検診へと移行させていく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	大腸がん検診事業										事業コード	040104410331			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち							政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり					
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521				
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課							所属長	岸見 貴志					
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	04 保健指導費		会計	01 一般会計		決算附属資料	146・147	頁
計画期間	開始年度	平成5年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市健康増進計画					R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・本市の死因原因の第1位はがんである。 ・大腸がんは早期発見・早期治療により、95%以上の人が治癒すると言われているため、定期検診の受診が重要である。				
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・例年、一定数のがん確定例が報告されているが、大腸がん検診の受診率は十分に高いとは言えず、早期発見・早期治療の充実を図るうえでの課題となっている。				
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市民一人ひとりが健康に対する意識を高め、がん検診を受診することで、予防に対する知識の普及を図るとともに早期発見・早期治療を行うことで、QOLの向上と健康寿命の延伸を図ることを目的とする。				
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 【実施方法】問診・免疫便潜血2日法 集団:保健福祉センターや地域公民館(8～12月) 個別:市内の委託医療機関(5月～12月) 【自己負担金】300円(無料制度あり)				
対象者	40歳以上の市民	対象者数	48,450	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,905		3,777		3,284		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		3,905		3,777		3,284		0					
予算財源内訳	① 一般財源	3,818		3,688		3,208		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	24		26		24		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	63		63		52		0					
決算情報	① 流充用額	0		△ 269									
	② 配当予算	3,905		3,508									
	③ 執行額	3,037		3,508									
	④ 執行率	77.8%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全時年度任用職員)	0.33	/	0.80	0.45	/	0.61	/					
	② 概算人件費	4,880		5,308									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,917		8,816									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	疾病予防対策事業費等補助金			種類	衛生費国庫補助金		44		決算附属資料	16		頁
		市町村休日総合がん検診支援事業補助金				衛生費府補助金		23			24		
		検診等自己負担金(大腸がん検診)				雑入		65			44		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人		0.25	0.46	0.14				
		目標値			0.4	0.4	0.4	0.4	0.4		
	がん発見率	達成度		%	63%	115%	35%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	6	6	6.1					
	検診受診率	当初見込		6.7	6.7	7.1	7.1	7.1			
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・40歳以上の市民に向けたがん検診の実施。 ・かわら版を各戸配布。 ・受診率の低い40歳～60歳を対象に個別勧奨。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・毎年がん検診受診により、大腸がん、特に早期がんが発見され、治療につながっているため、一定評価はできる。 ・大腸がん検診の受診率向上のために、イベント時や各事業所へ受診啓発などを行っている。実施方法としても様々な検診が1度に受診できる集団検診や休日の検診を設け、市民が受けやすい工夫している。 ・がんの死亡者数を減少させるためには、受診率の向上と毎年の受診を定着させることが課題である。	
現状の課題 に対する 改善策	・個別検診では他の健(検)診と一緒に受けられることを積極的に案内していただくよう医療機関に依頼している。集団健(検)診においても、申込時にセットで受診可能なことを案内し、受診を促す。 ・要精検者については、早期から個別通知や電話での勧奨を行い、精検受診率の向上を図る。	

1 事業属性

事業名	肺がん・結核検診事業							事業コード	040104410332			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	2 生涯を通じた身体・心の健康づくり			
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ							施策コード	521		
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課						所属長	岸見 貴志			
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 保健指導費		会計	01 一般会計	決算附属資料	147	頁
計画期間	開始年度	昭和62年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市健康増進計画				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱、感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律											
事業区分	☒ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()											
関連事業	-											

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・2023年の人口動態統計が死亡データより、肺がんは日本人のがん死亡数の第1位（男性1位、女性2位）である。 ・肺がんは短期間に悪化しやすく、5年相対生存率は特に男性ではがんの各部位の中でも低いため、早期発見・早期治療が重要である。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・検診の受診率は十分に高いとは言えず、早期発見・早期治療の充実を図るうえでの課題となっている。また、5年相対生存率が低いことから、より一層の受診促進が求められる。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市民一人ひとりが健康に対する意識を高め、がん検診を受診することで、予防に対する知識の普及を図るとともに早期発見・早期治療を行うことで、QOLの向上と健康寿命の延伸を図ることを目的とする。また、結核のハイリスク者（高齢者）を対象に結核検診を同時実施することにより、結核の早期発見、蔓延防止につなげる。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか簡潔書きで記載すること 【実施方法】 問診・胸部X線デジタル撮影 保健福祉センターや地域公民館、地域にある公民館等で巡回検診を実施（いずれも予約制で集団検診のみで実施） 【自己負担金】 無料 ただし、喀痰検査が必要な場合は500円（喀痰検査は70歳以上無料、69歳以下には無料制度あり） 【実施期間】 令和6年8月～令和6年12月					
対象者	40歳以上の市民、65歳以上は結核検診を兼ねる		対象者数	48,450	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	京都予防医学センター、京都府医師会					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	需用費	38	喀痰容器代、色上質紙(問診票)、製本費			
	役務費	149	郵送料、事務取扱手数料、切手購入			
	委託料	6,108	X線撮影業務委託料、読影料、結核精密検査データ提供料			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	6,502		7,183		6,396		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
	小計(①～③)	6,502		7,183		6,396		0	
予算財源内訳	① 一般財源	6,472		7,151		6,366		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	20		22		20		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	10		10		10		0	
決算情報	① 流充用額	0		△ 888					
	② 配当予算	6,502		6,295					
	③ 執行額	5,337		6,295					
	④ 執行率	82.1%		100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員・(余計年度任用職員))	0.47	/	0.53	0.34	/	0.53	/	
	② 概算人件費	5,244		4,204					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		10,581		10,499					

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	疾病予防対策事業費等補助金	種類	衛生費国庫補助金	実績金額	39	決算附属資料	16	頁
		市町村休日総合がん検診支援事業補助金		衛生費府補助金		18		24	
		検診等自己負担金(肺がん検診(喀たん))		雑入		4		44	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	0.07	0.14	0.07			
		目標値		0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	
	がん発見率		達成度	%	233%	467%	233%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	3	2.9	3			
	がん検診受診率	当初見込		4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・40歳以上の市民に向けたがん検診の実施。 ・かわら版を各戸配布。 ・受診率の低い40歳代、50歳代を対象に個別勧奨。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	日	6	6	1			
	最低補償人数を達成できた日数	当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	・受診希望者が多い会場では、キャンセル待ちの枠を設け、より多くの受診希望者が受診することにつながった。 ・健診会場の周辺地域では自治会文書にて広報を実施し、旧3町地域では防災無線での広報を実施。 ・検診委託業者の1日あたりの最低補償人数が、令和6年度に100人から140人に増加したため、最低補償人数の達成が難しい状況である。 ・建物の改築等で実施場所を変更したり、注意喚起が必要な会場があるため、地域の建物管理者と福知山市役所庁内の所管課への情報共有が必要。	
現状の課題 に対する 改善策		
	・実績に応じた会場調整、受付時間の設定、キャンセル枠の設置を継続していく。 ・検診受診率向上と最低補償人数を達成するべく、肺巡回の中央保健福祉センター実施日を増設する。 ・地域への広報とともに巡回検診実施会場の柔軟な調整、地域や庁内関係課との連携を継続していく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	女性のためのがん検診推進事業										事業コード	040104410361				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり							
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521					
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課						所属長	岸見 貴志							
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	04 保健指導費		会計	01 一般会計		決算附属資料	148		頁
計画期間	開始年度	昭和62年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市健康増進計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	がん対策基本法、健康増進法、福知山市がん検診等事業実施要綱															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 女性のがん罹患者数において、乳がんは1位、子宮がんは5位と上位を占めており、早期発見・早期治療が重要である。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・全国平均や府の平均と比較し、受診率が低い ・クーポン対象の年齢においても、他の年代と同様に受診率が低い									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 乳がん検診、子宮がん検診を実施することで、予防に対する知識の普及を図るとともに、早期発見・早期治療につなげ、がんによる死亡者数を減少させることにつなげる。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・子宮頸がん：膣細胞診、組織診 ・乳がん：マンモグラフィ検診 ・対象者数：①子宮がん検診15,800人 ②乳がん検診12,126人 ・子宮がん検診は満20歳、乳がん検診は満40歳の人に無料クーポン券を送付(5月末) ・無料クーポン券対象者のうち、未受診者には受診勧奨文送付(8月頃) ・実施方法：【集団】保健福祉センターや地域公民館(事前申込制) 【個別】市内の委託医療機関(乳がんは綾部市立病院も、子宮がんは府内の委託医療機関) ・自己負担金：①子宮がん検診 700円 ②乳がん検診 40歳代1,000円 50歳以上700円(無料制度あり)・前年度、特別な理由により未受診の人への特例措置あり									
対象者	①子宮がん検診：20歳以上の奇数年齢 ②乳がん検診：40歳以上の奇数年齢				対象者数	27,926		単位あたりコスト	1.2	
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	24,930		25,398		33,135		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		24,930		25,398		33,135		0						
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	24,267		24,212		27,382		0						
	② 国支出金	238		705		5,290		0						
	③ 府支出金	120		166		148		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	305		315		315		0						
決 算 情 報	① 流充用額	0		60										
	② 配当予算	24,930		25,458										
	③ 執行額	23,302		25,458										
	④ 執行率	93.5%		100.0%										
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.74	/	0.90	0.75	/	0.88	/						
	② 概算人件費	8,440		8,464										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		31,742		33,922										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	疾病予防対策事業費等補助金		種類	衛生費国庫補助金		実績金額	330		決算附属資料	16		頁
			市町村休日総合がん検診支援事業補助金			衛生費府補助金			158			24		
			検診案内かわら版広告収入			雑入			20			42		
			検診等自己負担金(乳がん検診)			雑入			165			44		
			検診等自己負担金(子宮がん検診)			雑入			130			44		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。 乳がん発見率		成果実績	%	0.37	0.07	0.27				
		目標値		0.33	0.33	0.33	0.33	0.33		
		達成度	%	112%	21%	82%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。 乳がん検診 受診率		活動実績	%	10.9	10.9	12.4				
		当初見込		13	13	13	13	13		
		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・検診対象者の内、特に受診してほしい年代の人に個別通知にて受診勧奨を行う。(クーポン対象者への案内も同様) ・市内のイベント、乳幼児健診、保育園などにポスターを掲示する。・SNSを活用して若い世代へ情報発信し、WEB申し込み者へも個別受診勧奨する。								
活動内容① (アクティビティ)										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。 子宮がん発見率		成果実績	%	0	0.06	0				
		目標値		0.03	0.03	0.03	0.03	0.03		
		達成度	%	0%	200%	0%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。 子宮がん検診受診率		活動実績	%	10.2	9.6	10.2				
		当初見込		12	12	12	12	12		
		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 ・個別受診勧奨 ・市外受診の啓発 ・クーポンの送付 ・ポスターやSNSを活用した啓発								
活動内容② (アクティビティ)										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・乳がん検診は6つの年齢層を対象に個別受診勧奨を実施するも、がんの好発年齢の40代の受診者数に伸び悩んでいる。(クーポン対象者の満40歳の受診率も低い) ・乳がん検診の結果を判定する読影を福知山医師会に委託しているが、過去のフィルム比較が必要なため、結果返却が遅くなっている。 ・子宮がん検診は、全体的に受診者数が前年度と比較して増加し、令和4年度の受診者数まで回復したが、長期的に見ると受診率は横ばいの状況であり、若い世代の受診者数が伸び悩んでいる状況である。	
現状の課題 に対する 改善策	・乳がん検診は、引き続きクーポン対象者への個別案内の送付、未受診者勧奨を続ける。また、クーポン対象以外で受診してほしい年齢層を選んで個別勧奨を継続する。 ・乳がん検診の画像はフィルムからデジタル化に変更し、クラウド管理ができるよう、システムを構築する。 ・子宮がん検診は、引き続き個別受診勧奨やポスター・SNSでの啓発に努める。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	アクティブシティ推進事業										事業コード	040104410371			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち						政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施 策 名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521				
事業担当	所属	150500 健康福祉部健康医療課						所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	04 保健指導費		会計	01 一般会計		決算附属資料	148・149	頁
計画期間	開始年度	令和3年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市健康増進計画				R7現在の状況	他事業を統合		
根拠法令等	福知山市健康増進計画														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・運動・スポーツを習慣としている人や、意識的に身体を動かしている人が少ない。 (R2市民アンケート調査より、1日1時間以上の運動習慣がない人の割合が5割、1日の歩数が6000歩以上の人の割合が2割、意識的に身体を動かす人は3割。)				
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・健康に対して無関心な人や、健康が大切だと認識していても行動につながらない人が、健康に関心をもち、運動やスポーツの活性化・習慣化につながるようなきっかけづくり、環境づくりに取り組む必要がある。 ・高血圧症をはじめとする生活習慣病を予防し、健康に長生きできるよう、全ての世代の市民が主体的に健康づくりに取り組めるような健康意識の醸成・動機づけが必要である。				
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・市民の身体活動(運動やスポーツなど)を盛んにすることで、アクティブ(活動的・能動的)でウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に充足感に満ちている)な地域を形成し、誰もが心身ともに健やかで豊かな生活を送ることができるまち「アクティブシティ」の実現をめざし、運動やスポーツなどの活性化、習慣化につながる仕組みづくり、環境づくり、きっかけづくりに、市民、団体、行政が一体となって取り組み、市民の健康度、幸福度の向上、健康寿命の延伸を図る。				
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・日常の身体活動の促進を図る市オリジナルアプリ「福知山KENPOS」の運用(3年目)。 ・福知山市出身のオリンピック中村友梨香さんを「アクティブシティ推進アドバイザー」として任命、情報発信、市民向けマラソン教室や親子運動講座等を開催。 ・本市の有効資源や自然環境を活用し、食や運動をテーマとしたアクティブライフ体験会の試行的実施。 ・福知山市アクティブシティ推進事業補助金による市民団体等の支援。 ・他部署連携及び官民協働による、まちなかウォーキングイベント等の開催。				
対象者	全市民	対象者数	74,000	単位あたりコスト	0.4
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)							
予 算 情 報	① 当初予算	17,287		17,732		11,322		0							
	② 補正予算	0		0		0		0							
	③ 繰越予算	0		0		0		0							
	前年度繰越	0		0		0									
	次年度繰越	0		0		0		0							
小計(①～③)		17,287		17,732		11,322		0							
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	12,894		13,116		6,561		0							
	② 国支出金	0		0		0		0							
	③ 府支出金	4,393		4,616		3,661		0							
	④ 地方債	0		0		0		0							
	⑤ その他特財	0		0		1,100		0							
決 算 情 報	① 流充用額	0		2,273											
	② 配当予算	17,287		20,005											
	③ 執行額	15,877		20,005											
	④ 執行率	91.8%		100.0%											
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 全年度任用職員)	0.63	/	0.98	1.39	/	0.54			/					
	② 概算人件費	7,784		12,632											
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		23,661		32,637											
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	アクティブシティ推進事業(きょうと地域連携交付金)		種類	衛生費府補助金		3,118		実績金額	決算附属資料		24		頁
			アクティブポイント負担金			雑入		1,377					49		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人			6002	6315	6450			
	福知山KENPOS利用者の1日あたり平均歩数	目標値				6000	6200	6400	6500	6600	
			達成度	%		100%	102%	101%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人		3647	6237	7165				
	福知山KENPOSアプリ登録者数	当初見込			2000	6000	8000	9000	10000		
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	・アプリ登録者を対象に、毎日のウォーキングや活動記録に対してポイントを付与し、楽しみながら自然に健康管理につながるしかけづくりを実施 ・アプリ登録者を対象に、アプリを活用したウォーキングイベントを実施(バーチャルウォーキング、企業対抗ウォーキングなど)										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人		1231	1688	1907				
	官民協働によるアクティブシティ推進事業参加者数(延)	目標値			1200	1500	1800	1900	2000		
			達成度	%	103%	113%	106%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	団体		6	9	9				
	アクティブシティ推進市民団体数	当初見込			6	7	10	10	10		
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	・市民に対する官民協働事業の実施 (市民団体がアクティブシティ推進事業補助金を活用して実施する事業、まちなかウォーキングイベント、アクティブライフ体験会、KENPOS企業対抗ウォーキング) ・市民会議においてアクティブシティ推進に向けた定期的な意見交換を図り、協働事業に反映する。また、新たに賛同いただける市民団体・企業等への働きかけを行う。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・福知山KENPOSの登録者数は7,100人を超え、幅広い年代で利用されている。また、アプリ利用者の平均歩数は年々増加傾向にあり、アプリ活用の成果といえる。一方で、10、20歳代登録者が少ないという課題がある。また、ふくぼ終了によるポイント運用の変更やポイント付与数の見直しにより、登録者維持・継続のためには、より楽しんで健康づくりに取り組めるような運用の工夫や、ポイント運用への財源確保が必要。また、アプリ利用支援に一定の労力・時間を要している。 ・健康に対する無関心層が健康づくりに取り組めるような働きかけ、きっかけづくりが必要。今年度試行的に実施したアクティブライフ体験会では、楽しさを前面に押し出すことで、無関心層の参加につなげることができ、大変好評であった。 ・市民会議での意見聴取や庁内戦略会議での他部署連携を重ね、イベントをはじめとする協働事業が実施できた。
現状の課題 に対する 改善策	
	・福知山KENPOSアプリの継続利用・更なる普及促進を図り、アプリを活用したウォーキング等の実践をととして、楽しみながら健康活動に取り組む市民を増やし、身体活動の活性化、健診受診率向上につなげるとともに、若い年代に対する利用促進として、公立大学生へのアプローチを継続する。また、企業から寄付を募り、ポイント運用のための財源を確保する。 ・健康に関心をもつきっかけづくりとなる体験会の本格実施により、より広い世代に向けた無関心層へのアプローチを行う。 ・アクティブシティ推進に賛同いただける市民団体・企業への働きかけを行い、官民協働での取組を広げていく。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	国保賦課・徴収業務経費										事業コード	010201450213				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち							政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521					
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課							所属長	高見 眞司						
会計情報	款	01 総務費		項	02 徴収費		目	01 賦課徴収費		会計	02 国保		決算附属資料	245		頁
計画期間	開始年度	昭和36年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	国民健康保険法、福知山市債権管理条例、福知山市滞納金督促条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (府・市共同事業)															
関連事業	－															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・国民健康保険の健全な運営のため、適正に国民健康保険料の賦課・収納を実施する。 ・京都地方税機構の構成団体として、滞納となった国保料を京都地方税機構へ移管する。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・適正な賦課・収納のために、職員それぞれが知識・スキルの向上に努め、課題等に迅速に対応することにより国保運営が滞ることのないよう取り組む。 ・窓口折衝の平準化及び強化を図り、京都地方税機構と連携して、現年度分及び滞納繰越分の収納率を維持する必要がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・国民健康保険事業の財源である国民健康保険料について、適正公平な賦課・徴収を実施することで保険料を確保し、健全な国保運営を行う。 ・納付義務者の利便性向上を図るとともに、滞納整理事務を効果的、効率的に行い、適正な賦課と確実な徴収により収納率の向上につなげる。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・国民健康保険被保険者に対し、世帯ごとに国民健康保険料を賦課し徴収を行う。 ①保険料決定通知書兼納付書の送付 ②口座振替の推進(ページー利用) ③督促状の発送 ④所得照会等 ⑤バーコード決済など納付方法の利便性向上の取組み ・滞納となった国保料を京都地方税機構へ移管し、適正な滞納整理により収納率の向上と保険料収入の確保及び負担の公平性を担保する。					
対象者	福知山市国民健康保険被保険者		対象者数	11,157	単位あたりコスト	4.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	31,369		33,566		33,472		0					
	② 補正予算	1,792		2,915		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		33,161		36,481		33,472		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	33,161		36,481		33,472		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	33,161		36,481									
	③ 執行額	31,567		33,013									
	④ 執行率	95.2%		90.5%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	1.39	/	0.60	1.61	/	0.25			/			
	② 概算人件費	12,800		13,580									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		44,367		46,593									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	職員給与と費等繰入金		種類	一般会計繰入金		31,075		実績金額	決算附属資料	242	頁
			府繰入金(2号分)			保険給付費等交付金		1,342				242	
				25									

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%		96.1	96.49	96.83			
		目標値			96	97	97	97	97	
		国保料(現年分)収納率	達成度	%	100%	99%	100%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回		1	1	1			
	口座振替勧奨通知の送付	当初見込			1	1	1	1	1	
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	・ページ口座振替受付や口座振替勧奨通知の送付により、納期内納付の推進及び納付者の利便性向上につなげる。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%		35.15	38.11	36.01			
		目標値			38	37	37	37	37	
		国保料(滞納繰越分)収納率	達成度	%	93%	103%	97%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件		235	255	238			
	差押・交付要求	当初見込			230	240	240	240	250	
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	税機構に収納率の向上を求めると共に、構成団体として滞納者に係る情報共有などを細かにを行い連携を強化する。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・現年度分について、収納率は令和2年度から4年連続で96%台を維持しており、令和6年度においても、納期内納付の促進のため口座振替登録の勧奨を積極的に行った。 ・滞納繰越分については、税機構移管前と比べて収納率は大きく向上しており、京都地方税機構への移管による保険料の収納は有効である。(税機構移管前H21国保料滞納繰越分収納率:14.73%) ・京都地方税機構との連携においては、情報共有を綿密に行い、資力のある滞納者からの徴収を確実に実施し、不納欠損を適切に行う。	
現状の課題 に対する 改善策	・国保の安定運営のため、より効果的な口座振替の推奨の工夫や、きめ細かな対応を行い、収納率の向上を目指す。 ・京都地方税機構に収納率の向上を求めると共に、構成団体としての連携を強めることで、滞納繰越分だけでなく、現年度分の滞納についても年度内の納付を促進し、収納率の向上につなげる。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	健康増進事業一般経費							事業コード	050201450252		
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり			
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521		
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課					所属長	高見 眞司			
会計情報	款	04 保健事業費	項	02 保健事業費	目	01 保健衛生普及費	会計	02 国保	決算附属資料	248	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市国民健康保険保健事業計画、データヘルス計画			R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法 ほか										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (										

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・令和4年度の健診結果から、特にHbA1c(※血糖値の高さに関する指標)と収縮期血圧は京都市市町村平均より5%以上高くなっており、心臓病と脳疾患の死因割合が高く、新規透析患者の割合も高い。						
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・BMI、腹囲、高血圧(収縮期血圧、拡張期血圧)の有所見者の割合が年々上昇している。 ・空腹時血糖の有所見者の割合は上昇傾向にあり、HbA1cは高い割合が続いている。						
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・効果的な保健事業を実施するための国民健康保険保健事業計画(データヘルス計画)で抽出した健康課題を解決するため、イベントでの啓発や健康教室等で病気に対する知識を深め、被保険者に健康管理の大切さを意識付け、疾患の重症化を予防する。						
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ①ロコモ予防講座(骨粗しょう症予防含む) ・60～74歳までの福知山市民を対象に2回シリーズで実施。体力測定、運動指導員の話と実践、栄養士の話、個人の目標立案の支援を行う。 ②高血圧予防教室 ・福知山市民を対象に令和6年度は大江町1回、夜久野町1回で実施。保健師、栄養士の話、食生活改善推進員による減塩方法の紹介等を行う。 ③各支所等で行われるイベントでの健康啓発コーナーで健診の啓発や健康チェック等実施。						
対象者	福知山市国民健康保険被保険者(40歳以上)			対象者数	9,042	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	4,889		227		231		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		4,889		227		231		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	269		227		231		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	4,620		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	4,889		227								
	③ 執行額	4,087		126								
	④ 執行率	83.6%		55.5%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.40	/	0.00	0.11	/	0.00		/			
	② 概算人件費	3,200		880								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,287		1,006								
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	保険者努力支援金		種類	保険給付費等交付金		実績金額	125	決算附属資料	242	頁
					27							

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	461.4	447.7	446			
	国保1000人当たりの患者数	目標値		435.2	417.1	399	380.9	362.9	
			達成度	%	106%	107%	112%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	42	37	41			
	参加者数(実)								
				当初見込	100	100	50	50	50
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	健診結果や市の医療費を分析した結果から、高血圧予防、ロコモティブシンドローム予防、糖尿病予防等の健康課題に応じた優先順位の高い教室を開催する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
				当初見込					
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	・健康医療課と事業内容の共有を行い連携を行いながら実施できている。 ・集団健診で特定健診を受診された人は全員、対面で結果を返却しており、教室の案内も併せて行うことができている。 ・保健師、栄養士、運動指導員が教室を実施しているが、参加者は生活習慣を見直し、疾病予防の意識が高まっていることから、健康増進に繋がっていると思う。	
現状の課題 に対する 改善策	・SNSを活用した健康情報の発信や効果的な事業周知について検討していく必要がある。	

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	国保健診事業							事業コード	050202450282			
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体健康づくり				
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521			
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課					所属長	高見 真司				
会計情報	款	04 保健事業費	項	02 保健事業費	目	02 疾病予防費		会計	02 国保	決算附属資料	249	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市健康増進計、福知山市国民健康保険第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法 ほか											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (											

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・被保険者の健康の保持増進のために必要な事業。 ・本市の国保における一人当たり医療費は、府内の自治体の中でも高い傾向が続いている。 ・歯周疾患は、全身の健康状態や生活習慣病にも様々な影響を及ぼすため、歯科健診による早期発見が重要となる。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・がん検診、歯科健診受診率がほぼ横ばいのため、受診率を上げ、疾病の早期発見や重症化予防を図る必要がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・国保被保険者の病気の予防に対する知識を普及させる。 ・自覚症状のない病気の早期の発見、早期治療につなげ、対象者の生活の質を高める。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ①大腸がん検診(40歳以上):便潜血2日法、自己負担金300円(無料制度あり)②前立腺がん検診(50歳以上の男性):腫瘍マーカーPSA検査、自己負担金200円(無料制度有)※①②は、集団検診(保健福祉センターや地域公民館)、個別検診(市内の委託医療機関)にて実施 ③妊婦歯科健診:母子健康手帳交付時に妊婦歯科健康診査受診票を交付、出産日までに協力歯科医療機関において個別健診を受診、自己負担金0円(対象者全員無料) ※①②は健康医療課、③は子ども政策室で実施する方法に準じる。 ④国保歯科健診(年度末年齢20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の国保被保険者):対象者へ受診券を交付、協力歯科医療機関において個別健診を受診、自己負担金0円					
対象者	福知山市国民健康保険被保険者(年齢等の制限あり)		対象者数	9,042	単位あたりコスト	0.8
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
託先・実施主体等	一般社団法人福知山医師会、京都府丹波歯科医師会、一般財団法人京都予防医学センター					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	需用費	70	消耗品			
	役務費	100	郵送料			
	委託料	4,664	検診委託料			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	7,569		7,520		7,139						
	② 補正予算	0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
小計(①～③)		7,569		7,520		7,139						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0						
	③ 府支出金	4,560		4,798		3,222						
	④ 地方債	0		0		0						
	⑤ その他特財	3,009		2,722		3,917						
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	7,569		7,520								
	③ 執行額	5,105		4,835								
	④ 執行率	67.4%		64.3%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.17	/	0.10	0.25	/	0.10		/			
	② 概算人件費	1,640		2,280								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,745		7,115								
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	保険者努力支援分		種類	保険給付費等交付金		実績金額	354	決算附属資料	242	頁
			府繰入金(2号分)			保険給付費等交付金			1,800		242	
			検診事業分繰入金			一般会計繰入金			2,606		242	
			大腸がん検診自己負担金			雑入			58		243	
			前立腺がん検診自己負担金			雑入			15		243	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	90.8	90.2	74.1			
	大腸がん検診 精密検査受診者率	目標値		93	93	93	93	93	
		達成度	%	98%	97%	80%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	14.8	15.3	14.6			
	大腸がん検診受診率	当初見込		15.5	15.5	15.5	15.5	15.5	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	50歳以上の国保被保険者に大腸がん検診を実施する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	89.04	83.56	80(見込)			
	精密検査受診者率	目標値		89	89	89.4	89.7	90	
		達成度	%	100%	94%	#VALUE!	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	10.85	11.11	10			
	歯科健診受診率	当初見込		15	15	15	15	15	
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	年度末年齢20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の国保被保険者に対して歯科健診を実施する。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること								
	受診後の精密検査については、比較的受診される傾向にあるので、まずは健(検)診受診率の向上が課題である。								
現状の課題 に対する 改善策									
	効果的な広報、受診勧奨を行う。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	国保運営事務事業							事業コード	複450201 ほか						
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり							
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521						
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課					所属長	高見 眞司							
会計情報	款	(複数科目合算)		項	(複数科目合算)		目	(複数科目合算)		会計	02 国保		決算附属資料	44・245・247・24	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－			R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	国民健康保険法 ほか														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☒ その他 (国民健康保険法に基づく事務 ほか)														
関連事業	－														

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・平成30年度に国民健康保険の制度改革により財政運営は都道府県が中心となり、市町村は地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付等の地域におけるきめ細かい事業を引き続き担うこととされている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 国民健康保険加入者が安心して医療を受け、健康の保持増進が図られるように資格の適正化を行い国保財政を健全かつ安定的な運営を行う必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・国民健康保険加入者が安心して医療を受け、健康の保持増進が図られるように資格の適正化を行い国保財政を健全かつ安定的に運営し、各種給付制度を利用できるようにする。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・国民健康保険の資格管理・保険給付を実施。①資格取得・喪失等の受付、脱退勧奨事務 ②高額療養費・療養費等給付申請受付事務 ③予算・決算事務 ・基金事業の実施 ④事業納付金対応 ⑤国民健康保険運営協議会の開催 【主な利用特財その他分】未就学児均等割保険料繰入金(一般会計繰入金)2,160千円242頁 産前産後保険料繰入金(一般会計繰入金)609千円242頁 職員給与等繰入金(一般会計繰入金)94,225千円242頁 財政安定化支援事業繰入金(一般会計繰入金)64,730千円242頁 地方単独事業分(一般会計繰入金)34,835千円242頁 緊急不況生活支援対策国保料減免分繰入金(一般会計繰入金)313千円242頁 基金繰入金(国民健康保険事業基金繰入金)220,816千円242・243頁									
対象者	福知山市国民健康保険の被保険者					対象者数	11,157		単位あたりコスト	177.4
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,803,778		1,835,311		11,911,085		0						
	② 補正予算	141,647		130,922		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		1,945,425		1,966,233		11,911,085		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	10,017		7,808		17,962		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	1,935,408		1,958,425		1,809,985		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	1,945,425		1,966,233										
	③ 執行額	1,935,311		1,957,122										
	④ 執行率	99.5%		99.5%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	2.16	/	0.95	2.66	/	0.49			/				
	② 概算人件費	19,940		22,652										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		46,998		1,979,774										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	社会保障・税番号制度システム整備費補助金		種類	システム整備補助金		実績金額	4,941		決算附属資料	241		頁
			保険者努力支援分			保険給付費等交付金			4,645			242		
			特別調整交付金分(市町村分)			保険給付費等交付金			4,490			242		
			府繰入金(2号分)			保険給付費等交付金			2,572			242		
			保険基盤安定(保険料軽減分)			一般会計繰入金			208,586			242		
			保険基盤安定(保険者支援分)			一般会計繰入金			116,419			242		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—			
	【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	2	2			
	国保運営協議会開催	当初見込		2	2	2	2	2	
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)	被保険者を代表する委員 5人、保険医又は保険薬剤師を代表する委員 5人、公益を代表する委員 5人、被用者保険等保険者を代表する委員 1人を選出し、福知山市の徴収及び運営方針その他の重要事項を審議する。広報カードによる周知を行い、国民健康保険事業の適正化を図れるようにする。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—			
	【定性的評価】	目標値	—	—	—	—	—		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	0	1	2			
	国民健康保険脱退勧奨の実施	当初見込		0	1	2	2	2	
	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)	各医療保険者がオンライン資格確認のために医療保険者向け中間サーバーに登録した資格情報と福知山市国民健康保険の資格が重複している人に対し脱退の勧奨を送付する。また、勧奨に対し連絡がない人に対し職権にて福知山市国民健康保険の脱退を行う。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・制度改正に対しては、期限内に対応ができています(システム改修、条例等の改正、広報等)。 ・国保運営協議会については、予定通り開催をした。また、諮問を行い答申を受けることができています。 ・R7年度に基金残高が大きく減るため、今後は慎重な予算管理、保険料設定が必要となる。 ・自治体システム標準化への対応。
現状の課題に対する改善策	・今後も継続的に毎年度の制度改正に対応してシステムなどを利用し効率的で適正な事業運営をしていく。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	医療費適正化事業							事業コード	複450209 ほか					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち					政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ						施策コード	521					
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課					所属長	高見 眞司						
会計情報	款	(複数科目合算)		項	(複数科目合算)		目	(複数科目合算)		会計	02 国保	決算附属資料	244・248	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市第3期データヘルス計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	国民健康保険法 ほか													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 全国的に一人当たりの医療費は増加傾向であり、本市の国民健康保険においても被保険者一人当たりの医療費は、年々増加傾向である。				
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 福知山市国保の一人当たり医療費は、京都府の中でも高い。(府内自治体の中で4番目)				
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 国民健康保険事業の安定した継続のため、被保険者の医療に関する意識の啓発及び医療費の適正化を図る。				
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・被保険者に本市の国保制度に関するパンフレット及び、実際の受診による医療費の通知を送付する。 ・被保険者の受診状況のデータから、後発医薬品に置き換えた場合に、差額が発生する被保険者に通知を行う。 ・被保険者に重複、多剤服薬の該当者がいないか確認し、医師、薬剤師と連携して該当者に通知を行う。 ・適正な資格管理と保険給付を行うため、レセプト点検を実施する。				
対象者	福知山市国民健康保険被保険者	対象者数	11,157	単位あたりコスト	1.3
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	8,101		9,242		3,199		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)		8,101		9,242		3,199		0		
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	6,368		7,565		3,199		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	1,733		1,677		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	8,101		9,242						
	③ 執行額	6,820		6,539						
	④ 執行率	84.2%		70.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.38	/	0.80	0.51	/	1.28			/
	② 概算人件費	5,280		7,664						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		12,100		14,203						
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	府繰入金(2号分)		種類	保険給付費等交付金		6,263	決算附属資料	242	頁
		保険者努力支援金			保険給付費等交付金		229		242	
		職員給与と費等繰入金			一般会計繰入金		47		242	
					42					

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	78.6	80.5	82.9				
	被保険者の後発医薬品使用割合(数量シェア)の向上	目標値		—	—	78.6	79.3	80		
			達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	105%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	2	2	2				
	後発医薬品差額通知回数	当初見込		2	2	2	2	2		
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 【後発医薬品差額通知についての説明】 ※ 医療費適正化のため、後発医薬品差額通知を年2回発送する。高齢化による医療費の増加が見込まれることにより、医療費の適正化が重要な課題となっていることから後発医薬品(ジェネリック医薬品)の普及促進を行い、患者負担の軽減や医療保険財政の健全化を目的とする。国保総合システムよりダウンロードした情報により国保総合システムに抽出条件を登録することで、京都府国民健康保険団体連合会において対象者を抽出したうえで通知書を作成し、対象者へ通知する。令和6年7月及び令和7年1月調分割のうち、後発医薬品に置き換えた場合に差額が発生する全ての薬効分類名称を対象と									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	53	59	45				
	重複・多剤解消割合	目標値		—	—	50	55	60		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	90%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	1	1				
	重複服薬該当者への通知回数	当初見込		1	1	1	1	1		
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 【重複服薬者通知についての説明】 ※ 医療費適正化のため、年1回送付する。被保険者に対して行う保健事業の一環として、かかりつけの医師や薬剤師・薬局による服薬情報の一元的管理を推進するため、重複服薬に該当すると思われる被保険者に対しての服薬情報の通知事業。同一月に2以上の医療機関から、同一薬効の医薬品を令和6年4月から5月の2か月連続して7日以上重複して処方された者を通知対象としている。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	多剤服薬者に対する情報の抽出方法、通知方法(解消を促すための内容含む)が確立できていない。	
現状の課題 に対する 改善策	多剤服薬者に対する抽出、通知を実施している他市町を調査し、本市で実施できる手順を確立する。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	保険給付事業						事業コード	複450218 ほか					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり						
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ					施策コード	521					
事業担当	所属	150900 健康福祉部保険年金課				所属長	高見 真司						
会計情報	款	02 保険給付費	項	(複数科目合算)		目	(複数科目合算)		会計	02 国保	決算附属資料	246・247	頁
計画期間	開始年度	昭和36年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	－					R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	国民健康保険法、福知山市国民健康保険条例、感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律、障害者総合支援法に規定する第58条に規定する指定自立支援医療のうち障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行 ほか												
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (												

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 国民皆保険の維持のために実施する事業であり、府が広域的及び効率的な国保事業運営のために定めた方針を踏まえ、被保険者に対しきめ細かい給付事業を行う。						
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ マイナ保険証への移行による被保険者証廃止や、高額療養費負担区分の変更の検討などの制度改正に迅速に対応するとともに、継続的に保険給付を受けるにあたって被保険者が不安を感じることがないように正確な情報の周知を行う必要がある。						
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・国民健康保険被保険者が疾病等により健康の維持・回復のため医療機関等で受療した医療について保険給付(現物給付・現金給付)を行う。 ・国民健康保険加入世帯の出産育児・葬祭に係る経済的な負担軽減を図る。 ・国民健康保険加入世帯の精神疾患、結核に係る医療費の負担軽減を図り健康の保持増進に寄与する。						
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・被保険者への各種給付(現物給付・現金給付)を行う。 ・被保険者への窓口やパンフレット等での正確な情報の周知(被保険者証廃止後でも引き続き医療が受けられる等) ・個別の勧奨通知を通じた被保険者が受けられる給付の幅広い周知、広報						
対象者	福知山市国民健康保険被保険者			対象者数	11,157	単位あたりコスト	415.8
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,158,152		5,379,282		4,657,818		0					
	② 補正予算	42,620		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		5,200,772		5,379,282		4,657,818		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	5,153,674		5,337,858		4,598,329		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	47,098		41,424		59,489		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	5,200,772		5,379,282									
	③ 執行額	5,086,406		4,634,271									
	④ 執行率	97.8%		86.2%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	2.16	/	0.70	0.54	/	0.14	/					
	② 概算人件費	19,240		4,712									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,079,302		4,638,983									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	保険給付費等交付金(普通交付金)		種類	保険給付費等交付金		実績金額	4,592,897		決算附属資料	242	頁
			府繰入金(2号分)			保険給付費等交付金			13,558			242	
			出産育児一時金繰入金			一般会計繰入金			8,921			242	
			財政安定化支援事業繰入金			一般会計繰入金			10,020			242	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	—	—	—	—			
	【定性的評価】		目標値	—	—	—	—	—		
			達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	10	11	11			
	高額療養費支給申請勧奨送付回数									
					当初見込	12	12	12	12	12
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	高額療養費該当者に対して申請勧奨通知を月1回送付する。									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	—	—	—	—			
	【定性的評価】		目標値		—	—	—	—	—	
			達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	1	1	1			
	葬祭費、出産育児一時金差額支給申請勧奨送付回数									
					当初見込	1	1	1	1	1
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	葬祭費、出産育児一時金差額支給申請勧奨も行い、申請を容易にするのためオンラインでの申請も選択肢に加え勧奨する。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・被保険者が安心して保険給付を受けることができ、健康保持増進に有効である。 ・医療費の抑制
現状の課題 に対する 改善策	高額な医療費が発生する前に、健診などの受診により病気の早期発見や保健指導を行う。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	子宮頸がん予防ワクチン接種事業										事業コード	040102410351				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち						政策目標	2 生涯を通じた身体の健康づくり							
	施策名	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ								施策コード	521					
事業担当	所属	170200 こども家庭部こども家庭支援課						所属長	荒賀 正之							
会計情報	款	04 衛生費		項	01 保健衛生費		目	02 予防費		会計	01 一般会計		決算附属資料	141・142		頁
計画期間	開始年度	平成22年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	第2次福知山市健康増進計画、福知山市子ども・子育て支援事業計画				R7現在の状況	継続中			
根拠法令等	予防接種法															
事業区分	☒ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 H22年度から開始した予防接種であるが、副反応が疑われ、H25年6月から、積極的勧奨を控えることとなった。副反応の検証が行われた後、R2年11月から接種できる案内を行った。その後、令和4年4月から、積極的勧奨を行うこととなり、通常の定期の対象と、差し控えていた時期の対象者全てに、キャッチアップ接種として、予防票の有効期限を延長し案内した。R6年11月頃から接種者の増加によりワクチン不足となり、R6年度までに1回でも接種した対象者は1年間の期間の中で完了できることとなった。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 15歳未満で9価ワクチン1回目接種の場合は2回接種完了となるなど、開始年齢により接種回数が異なるため、対象者の把握が難しい。 幼少期と違い、対象者自身が接種の判断・意思表示をすることにより、接種率も上がりにくいと思われる。しかし有効期限が迫り勧奨を行うと、周りの接種状況を見て接種する人も出てくる傾向にあるため、最終個別勧奨は大切である。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ワクチン接種をすることで、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐとともに、子宮頸がん検診によって子宮頸がんの発症や死亡の減少が期待できる。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 医療機関で3回個別接種(15歳未満で9価ワクチン1回目接種の場合は2回接種完了)した費用負担を行う。 中学1年生の女子の定期接種対象者に予防票を送付。 新たに経過措置対象者となる平成9年4月2日生～平成21年4月1日生の女性で、令和4年4月1日から令和7年3月31日迄に1回以上接種した接種未完了分の予防票を送付。 指定医療機関以外で接種した者へは、償還払いで対応する。										
対象者	定期:中学1年～高校1年生相当、経過措置(R4.4.1～R7.3.31迄に1回以上接種した者・平成9年度～20年度生まれの未接種の女性					対象者数	9,093		単位あたりコスト	6.3	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	60,879		26,913		22,460		0						
	② 補正予算	△ 26,895		34,102		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		33,984		61,015		22,460		0						
予算財源内訳	① 一般財源	33,984		60,905		22,460		0						
	② 国支出金	0		110		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		1,162										
	② 配当予算	33,984		62,177										
	③ 執行額	30,100		55,927										
	④ 執行率	88.6%		89.9%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全時年度任用職員)	0.39	/	0.10	0.10	/	0.24	/						
	② 概算人件費	3,400		1,472										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		33,500		57,399										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	子宮頸がん予防ワクチン接種事業 (マイナンバー情報連携体制整備事業補			種類	衛生費国庫補助金		実績金額	55		決算附属資料	16		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	%	17	15.5	24.4				
			目標値		50	50	50	50	60		
	予防接種率(6年度までは年度内定期) 高校1年相当到達時接種率(R7年度から)		達成度	%	34%	31%	49%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	5	5	15				
	接種勧奨回数 (個人通知。その他メディアを通じた啓発等)				当初見込	5	5	5	3	3	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	定期は高校1年相当の4月にはがきで、キャッチアップ対象者には、予診票や、はがきでの接種勧奨を行った。										

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 接種有効期限が4年間(中学1年生から高校1年相当の年度末)と長いこともあり、接種開始が案内した直後にならない傾向がある。最終的に高校1年生相当年度までの完了率で判断することとなる。SNS等を通して勧奨を行うが、効果の判定が難しい。 キャッチアップ接種の終了から、経過措置期間が設けられた。対象者、延べ人数は4月に確定する。 急性期的な予防のワクチンではないため、効果の判断は、将来に渡る年月を経たものになる。								
現状の課題 に対する 改善策	医療機関への周知については、定期A類疾病予防接種取扱手順を発行するとともに、問い合わせ時に、丁寧に説明を行う。 未接種勧奨の時期を適切に考え、高校1年生相当の夏前に個別にはがきでお知らせする。								